

はじめに

戦争に関する資料館検討委員会は、平成8年12月に本委員会の前身であります戦争に関する資料館調査検討委員会において戦争に関する資料館の基本理念についての報告書が提出されたのを受け、より具体的な施設像についての検討を行うことを目的として、愛知県及び名古屋市の依頼により平成9年8月に設置されたものです。本委員会では、これまでに委員会を4回、専門的な検討を行う小委員会を8回開催し、戦争に関する資料館の基本計画及び戦争に関する資料の収集方針について検討を重ね、このたび、その結果を報告書としてまとめに至りました。

本委員会の検討課題は、これまでの基本的・総論的な内容から、資料館の具体的・各論的内容へと入り、明確な施設像が浮かび上がってくる段階に差し掛かりました。全国有数の空襲被害など悲惨な戦争の体験を次の世代に引き継ぎ、戦争の残した教訓や平和の大切さについて学び、考えていくためには、資料館でどのような事業を実施していくのか、また、戦争体験者の高齢化が進む中で、どのように戦争に関する資料の収集を進めていくかということが検討課題でありました。本委員会ではこうした課題について、幅広く、かつ、具体的な論議を重ねることができました。

こうした論議の積み重ねの中で、私達は、現在の平和と繁栄が先の大戦とそれに続く苦難の時代の大きな犠牲の上に築かれたものであることを忘れることなく、20世紀の人類共通の体験でもある戦争体験を次世代に伝えていくための手段として、地域の戦争に関するデータベース機能を持ち、21世紀を指向し多様なメディアを駆使した、この地域の誇りとなる次世代型の施設づくりがぜひとも必要であるとの思いを強く致しました。

これまでも県民の皆様から数多くの貴重な戦争に関する資料が寄せられていますが、引き続きこうした資料の収集が積極的かつ継続的に進められることが重要です。

愛知県及び名古屋市におかれましては、本委員会の報告書をもとに、設置場所や施設内容など事業化に向けての様々な検討を進め、一日も早く資料館を建設するとともに、平和を希求する豊かな心を育む幅広い事業展開が図られることを強く望みます。

平成11年 3月

戦争に関する資料館検討委員会

